

ESSEの 気ままに エリアレポート

～札幌市南区(真駒内・澄川)～



五輪の歴史が 息づく緑の街

歴史 札幌オリンピック

真駒内地区は、昭和47年開催の第11回札幌オリンピック冬季大会のメイン会場となりました。今でもその名残が残るものが多くあります。現真駒内セキスイハイムアイスアリーナ、現セキスイハイムスタジアムはそれぞれフィギュアスケート、スピードスケートの競技場として使用するために建設された施設です。競技場のみならず、現在の真駒内団地は選手村として、真駒内曙中学校は大会運営事務局として利用されていました。

地下鉄南北線もオリンピック開催にむけて開通しました。開通当初は北24条から真駒内までの路線でしたが、昭和53年に現在と同様の路線となりました。

オリンピックに合わせて作られた施設は、今も札幌市民の生活を支えています。

施設 五輪大橋・ミュンヘン大橋

五輪大橋はその名の通り、オリンピックにちなんで名付けられた橋です。五輪通にある豊平川の橋で、石山通と真駒内公園をつないでいます。開通した当初は北の沢大橋という名称でしたが、オリンピック開催にあわせて改称されました。

ミュンヘン大橋は、札幌市とドイツのミュンヘン市の姉妹都市提携15周年の年となる昭和62年に事業着手したことから名づけられました。そもそも、なぜミュンヘン市と札幌市が姉妹都市なのかというと、これもオリンピックが関係しています。昭和47年の冬季・夏季オリンピック開催地に各々が選ばれるというのがミュンヘン市との出会いです。

歴史 「真駒内」「澄川」の由来

真駒内の由来はアイヌ語の「マク・オマ・ナイ」。直訳すると「山の方・にある・川」という意味です。この川が指すのは真駒内川のことで、豊平川の支流です。また、澄川も川が由来の地名です。こちらの由来となった川は精進川。川の澄んだ流れにちなんで名づけられました。

精進川を境に隣り合う澄川と真駒内は、かつては林業、農業で栄えた地です。

開拓使の技術指導者として札幌に赴任したエドウィン・ダンが、真駒内に牧牛場を建設することを提案しました。この牧牛場はのちの真駒内種畜場です。北海道の畜産業に大きく貢献した人物であり、真駒内にはエドウィン・ダン記念公園があります。



家賃相場は？

地下鉄真駒内駅	[1LDK] 4.62万円
	[2LDK] 5.90万円
地下鉄澄川駅	[1LDK] 4.55万円
	[2LDK] 6.34万円

自然 真駒内公園

明治百年記念森林公園として造成された、由緒ある道立の都市公園です。公園内には真駒内セキスイハイムアイスアリーナ、セキスイハイムスタジアムがあります。面積85ヘクタールのほぼ平坦な地には、約1万3200本もの樹木が植えられ、その他に約5万本の自然木があります。そのうち、ハルニシの木など、25本が推定樹齢135年以上の樹木と確認されており、樹種プレートが取り付けられています。

札幌市内では、紅葉の名所として知られていますが、春には桜も見ることができます。公園内には3kmの周回コースがあり、ジョギングやウォーキング、冬は歩くスキーを楽しむ人がいます。